

## RICE-STIX TEST

# TEST



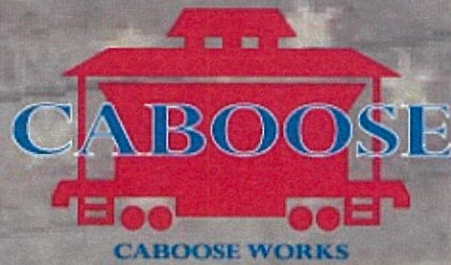
1920年代～1960年代後半にかけてセントルイスの Rice-Stix-Dry Good co. 社が展開していた正式名称 RICE-STIX TEST (ライスステックステスト)。インパクトのあるロゴで、ワークウェア展開を行っていた事で、今またワークウェア人気の中で人気再燃中。画像にもあるカバーオールやシャンブレイシャツが特に人気で、トレンドアイテムとの相性も良くフリマサイト等でも良く見かける状況に。デニム再燃の兆しの中でこれからは期待ができるワークブランドです。



*J.C. Higgins*


1948年アメリカニューヨークに拠点を置く SEARS, ROEBUCK AND CO. にて立ち上げられた、ハンティングアウトドアブランド。SEARS を中心にブランド展開を行うにあたり、当時アメリカで人気だったハンティングスポーツにむけたアパレル・アウトドアギアまで同時展開ブランド。ブランドとしてアウトドアライフスタイルを提案しており、当時このような展開は珍しかった事もあり、アメリカ国内で人気を博した。





1988年 アメリカ オハイオ州のRHG LTD. が立ち上げたカジュアルライクなワークウェアブランド。ロゴはブランド名が意味する、貨物車両最後尾に連結する車掌車両がモチーフとなっている。キャッチーなロゴが印象的で、商品自体はシンプルながら仕様を少しカジュアルライクに落とし込み展開を行っていた。中でもオーバーオールやワークジャケットは人気を博していた事もあり、ネット上にも古着屋にも現存商品が多数あり。ノームコアトレンドの現在、ブランドロゴで消費者へ訴え掛けられるだけのインパクトのあるブランド。



 eagle  
athletic  
manufacturing

1986年 アメリカモンタナ州 EAGLE ATHLETIC INC. により、スポーツチームジャケットを展開したブランド EAGLE ATHLETIC MANUFACTURING。主に NFL を意識したスタジアムジャンパーをメイン商材として展開し、College のチーム別注や企業ロゴなども対応できるようにと、無地での展開を行っていた。1990年代にはインポートで取り扱う国内スポーツショップもあり、OEM 対応を行っていた。ブランドロゴには強さや速さをイメージできる鷹（イーグル）をモチーフにしている。

 eagle  
athletic  
manufacturing  
GREAT FALLS, MONTANA



# BIG MURPH

1906年設立のG.C.MURPHY COMPANYにより、1960年代に店舗拡大に伴いブランディングを始める際に【BIG MURPH】を登録。当時主流だったデニムを中心としたワークウェア展開と共に、カジュアルも同時展開。G.C. MURPHY COMPANYは1980年代にはアメリカ国内で490店舗もの店舗展開を行い現WALL MARTやTARGETのルーツとなる企業として歴史深いチェーンストア。その中でメインとして展開していたBIG MRUPHだが、状態良く現存している商材は少なく如何に購買者から愛用されていたかが伺える。



# Van Cort

1950年代から1970代にかけて、アメリカ国内でニューヨーク発 F.W.Woolworth社（現 FootlockerJnc）により立ち上げられたブランド【VANCORT】。当時からスポーツテイストも入れながらカジュアル展開を行っており、レザー JKT からアロハシャツまで手広く展開。当時は自社小売店舗での販売をベースで、今でもファンが多く海外オークションサイト等でもアロハシャツは高値取引のあるブランドです。

